2026 年 11 月 13 日
システムズ・デザイン株式会社

川崎市が発行する「グリーンボンド」への投資について

システムズ・デザイン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：岡田 秀明、以下「当社」） は、このたび、川崎市が発行する「第６回川崎市グリーンボンド５年公募公債」（発行額 50 億円、発行日 2026 年 11 月 25 日、以下「本債券」）（※）への投資を決定しましたので、お知らせいたします。本債券の発行による調達資金は、2050 年の二酸化炭素（CO_2）排出量実質ゼロの達成（緩和）と気候変動に起因した自然災害による被害の回避・軽減（適応）に向けて、川崎市が取り組むための下表の環境施策に充当される予定です。

グリーンボンド原則 事業区分	グリーン適格プロジェクト	グリーンプロジェクト としての便益
汚染防止及び抑制	高効率な廃棄物処理施設の整備	･エネルギー回収率(発電能力)の向上 ･大気汚染物質の排出削減
エネルギー効率	公共施設の省エネ化	･エネルギー消費削減による CO_2 排出量削減
	環境性能の高い公共施設の 新築、改修ならびに取得	
再生可能エネルギー エネルギー効率	カーボンニュートラルポート (CNP)の形成	･エネルギー消費削減による CO_2 排出量削減と CNP の形成に向けた取組の推進
再生可能エネルギー	公共施設への 太陽光発電設備の導入	･CO_2 排出量削減
クリーン輸送	自転車通行環境の整備	･エネルギー消費削減による CO_2 排出量削減
気候変動への適応	水害対策のための河川整備	･水災害発生時の浸水被害の緩和 ･水災害発生時の安全･信頼できるインフラの維持 ･熱中症被害の軽減
	災害時のトイレ対策	
	防災情報収集･伝達体制の整備	
	熱中症対策の推進	
グリーンボンド原則 事業区分	ブルー適格プロジェクト	グリーンあるいはブループロジェクト としての便益
汚染防止及び抑制 気候変動への適応	下水道施設の整備	･適切な汚水処理による水質維持 ･水災害発生時の浸水被害の緩和

当社は、中期経営計画の基本方針の一つに「環境・社会への貢献の推進」を掲げており、今後も、当社グループ全体として企業理念である「ステークホルダーとともに社会の持続的な成長に貢献する」の実現に向け、ESG 投資の実施も含め、積極的に取り組んでまいります。

※グリーンボンドは、地球温暖化防止対策や再生可能エネルギーといった環境的問題の解決に資する事業（グリーンプロジェクト）に必要な資金を調達するために発行する債券です。本債券は「グリーンボンド原則2025（ICMA）」、「グリーンボンドガイドライン（2024年版）（環境省）」、「A Practitioner's Guide for Bonds to Finance the Sustainable Blue Economy（ICMA/IFC/UNEP FI/UN Global Compact/ADB）」との適合性に対するオピニオンを株式会社日本格付研究所より取得しており、最上位評価の「Green1（F）/Blue1（F）」となっております。

以上